



Vol.122 PUSH!

図書館司書が選んだ
中高生向けのおすすめ本
テーマ

#図書館



苦手な読書が好きになる!

ゼロからの 読書教室

読書猿／著 北澤 平祐／絵
NHK出版（019ドクシ）

「本は全部読まずに途中から読んでもいいし、全部理解できなくてもよいのじゃよ。」と、読書感想文に悩む女の子へ教えたのは、喋るフクロウ!?

本を読むのは苦手だけど、読みたい・読まなくちゃいけない人たちへ贈る、読書へのハードルが下がる本です。



吉田 亮人／写真
矢萩 多聞／文
創元社
(Eコンダ)

はたらく 図書館



朝8時20分、職員が開館の準備を始めます。挨拶の練習をしたり、並んだ本を整えたり、返された本もチェックして…朝9時、いよいよ図書館が開きます。その後も、窓口対応や壊れた本の修理などをしていくと…もう午後2時! 思ったより忙しい図書館の裏側を覗いてみませんか?



図書館が くれた 宝物

ケイト・アルバス／作
櫛田 理絵／訳
徳間書店（Y93アルバ）

1940年、第二次世界大戦が始まったばかりのロンドン。親代わりの祖母を亡くした3人兄妹は、大きなミッションを隠して地方に疎開します。陰湿ないじめや貧困、厳しい疎開生活での心のよりどころは、村の図書館と司書のミューラーさんでした。3人の秘密のたくらみは成功するでしょうか。

ふくもっちゃんのつぶやき

～福島市立図書館★40周年～

こんにちは。ふくもっちゃんでございます。福島市立図書館は今年40周年を迎えました。開館は1985年（昭和60年）。今では本館のほかに、2つの分館と移動図書館（しのぶ号）そして16の学習センター図書室があります。いま市立図書館HPでは40周年記念として

「図書館の裏側紹介・閉架書庫編」

を公開中! 普段は見ることのできない「図書館の裏」を私がお案内します。どうぞご覧ください。

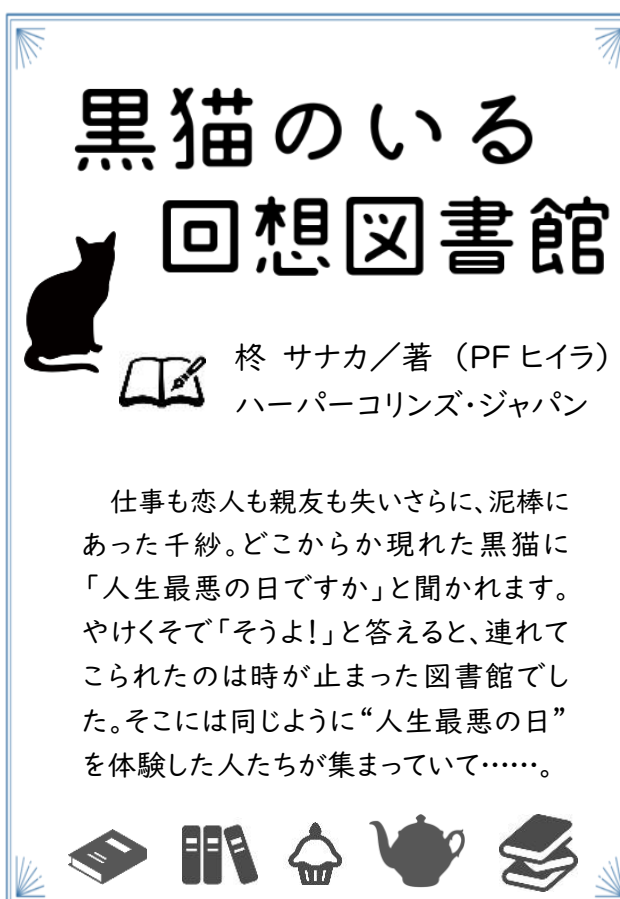


福島市立図書館 裏側

令和7年9月

編集発行 福島市立図書館 YA部会

TEL 024-531-6551



黒猫のいる 回想図書館



柊 サナカ／著（PFヒイラ）
ハーパーコリンズ・ジャパン

仕事も恋人も親友も失いさらに、泥棒にあった千紗。どこからか現れた黒猫に「人生最悪の日ですか」と聞かれます。やけくそで「そうよ!」と答えると、連れてこられたのは時が止まった図書館でした。そこには同じように“人生最悪の日”を体験した人たちが集まっていて……。



本と鍵の 季節

米澤 穂信／著
集英社（Fヨネザ）

高校二年生の図書委員、堀川次郎と松倉詩門。二人は本にまつわる知識を生かし、学校の生徒たちから持ち込まれる謎を次々に解決していく。しかし、時には知らずにいたかった真相までも明らかにしてしまい…。



絵で見る 日本の 図書館の歴史

奥泉 和久／監修
堀切 リエ／文、いしい つとむ／絵
子どもの未来社（B01ホリキ）

日本初の図書館が出来たのは奈良時代! そこから図書館は文字や印刷技術の発展とともに、多くの人々に親しまれる場所へと変化していきました。

戦争、検閲、災害…様々な困難を乗り越えて今の姿になった、日本の図書館の歴史を辿ってみましょう。